
家出娘 Go To 赤城ホテル

枕木悠

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

家出娘 G O T O 赤城ホテル

【Nコード】

N9055U

【作者名】

枕木悠

【あらすじ】

赤城真奈の経営する赤城ホテル。

赤城ホテルにはとある事情で寮にいられない女の子が逃げ込む場所だ。

今日も複雑な事情で寮から逃げ出してきた女の子が赤城真奈のコーラの気飲みを目撃する。ゲップはしない。炭酸を飲み込むのが真奈のポリシー。

書き手は真奈の親友の宇佐美唯子。なるべく読みやすい文章を心がけています。

プロローグ

赤城ホテルは支配人の赤城真奈がすることもないので明方女学園の旧校舎の薬品くさい部屋を様々な業者とお金を使って建てたホテルである。

つまり、真奈は赤城ホテルの支配人。

勘違いしてはいけないのは真奈が大人ではなく、高校生ということ。高等部の三年生にこの春なつたばかりだ。支配人になるのはまだ早すぎる年ごろ。しかし、だれを止めても（もちろん男子禁制だが）、お金はとらない。B定食の食券四枚が赤城ホテルに泊まる条件。その食券は支配人の真奈と他の従業員三人の分。

さて、することも無いといっても、当然真奈には目的があった。

このホテルを開いた目的、それは……、まあ、おいおい、説明しよう。

最近の真奈は言葉が足りないかもれない。けれど、それも真奈の個性で、明方女学園が真奈を育んだ結果である。今の真奈はこんな風じゃなかった。こんな風じゃなかったというのは、昔と変わったということだ。昔はどうだったかというのと、炭酸を一气飲みしなかった。今の真奈は炭酸を一气飲みする。

これを書いている私こと、従業員ナンバー・ワンの宇佐美唯子も変わった。

とても変わったところを上げると、私は真奈を真奈を呼ぶようになった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9055u/>

家出娘 Go To 赤城ホテル

2011年10月9日12時00分発行